

## 令和8年度地域課題解決共創事業「One+」 特定テーマ申請書

希望テーマ名	“行きたくなる手づくり村” SNS・デジタル戦略プロジェクト
テーマ要旨 (課題の概要)	<p><b>【背景と課題】</b></p> <p>現在盛岡手づくり村は、情報発信が施設側からの周知に留まっており、若年層への訴求力や SNS を通じた双方向の繋がりが弱いという課題があります。</p> <p>また、商品や売場についても若者層やインバウンドへの訴求が弱く、商品の見せ方の工夫等の売場づくりの改善に加え、西部地域連携（つなぎ温泉・小岩井農場）の観光動線強化による「消費につながる仕組みづくり」が必要です。</p> <p><b>【課題解決を目的にした特定テーマの内容】</b></p> <p>「学生の感性」と「デジタル戦略」を融合させることを目的に、以下のテーマを申請します。</p> <p><b>1 SNS 運用の刷新</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生目線による HP の更新や Instagram 等の運用を通して、ターゲットに近い目線でトレンドを捉えた発信内容の検討。</li> </ul> <p><b>2 コンテンツ開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の伝統工芸に「映え」の要素を加えた体験メニューの提案や、職人の素顔に迫るインタビュー等の実施。</li> <li>・SNS と連動した売場づくり（フォトスポット設置等）の考案による自発的な情報発信を誘発し、自ら訪れ→購入し→発信したくなる「売れる空間」づくり。</li> </ul> <p><b>3 拡散施策の展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部協力者（団体）との連携による、一方的な情報伝達ではない、共感と拡散を軸としたデジタルマーケティングの展開。</li> <li>・つなぎ温泉・小岩井農場と連動した魅力発信及び周遊モデルコースの開発。</li> </ul>
期待する効果	<p><b>1 若年層へのイメージ刷新</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生視点での「映える体験」の開発や SNS 上の発信を通して、伝統工芸の持つ「堅い・古い」といったイメージからの脱却。</li> </ul> <p><b>2 SNS を通じた来訪動機の創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画コンテンツや外部協力者（団体）との連携による共感性の高い発信により、潜在顧客の「行ってみたい」という来訪動機を創出。</li> <li>・つなぎ温泉・小岩井農場との連動により周遊率を向上。</li> </ul> <p><b>3 広告費をかけない自走型誘客モデルの構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS 上での自発的な投稿や口コミを仕組み化することで、有料広告に依存しない自立的な情報拡散のサイクル・持続可能な誘客モデルの構築</li> </ul>
担当所属	ものづくり推進課
担当者氏名	津川、鈴木
連絡先電話番号	019-626-7538（内線 8123）

E - m a i l	monozukuri@city.morioka.iwate.jp
協 力 内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ SNS 用の写真撮影や発信内容の検討など、活動の進捗に応じた伴走支援。</li><li>・ 各工房担当者や職人、並びにつなぎ温泉・小岩井農場とのコーディネート支援</li><li>・ 手づくり村 HP 等の SNS 活用した活動内容の発信</li><li>・ その他、必要に応じた情報提供や助言。</li></ul>
そ の 他	